

目的

- InspecTerra社の iCamm 非破壊検査器 (NDT) を使用して、コンクリート橋脚の主筋腐食を評価およびマッピング化。
- 合計8基の高速道路高架橋脚 (下部) の主筋をスキャン。

構造物の情報

- 橋脚の直径: 1320 mm
- 配筋状況:
 - 主筋(縦): D29×22本の鉄筋を円周方向に配筋
 - 帯筋(横): スパイラル筋 D10 @ 6 cm ピッチ
 - かぶり厚さ: 5 cm

調査報告

- 8本の橋脚(下部)を約4時間で検査。
- 各橋脚の腐食程度(鉄筋の断面損失)を定量化した。
- iCammの結果とコンクリートの表面状態(亀裂や剥離など)の目視結果との相関性は完全一致し、目視確認できない箇所の腐食浸食範囲も特定。



iCammによる主筋のスキャン

写真: 橋脚5
剥離したコンクリート



iCamm 結果の例: 橋脚5 鉄筋断面損失量のコンターマップ

